

活動報告

竜北東小学校・宮原小学校 宿泊通学 1日目

平成26年度宿泊通学は竜北東小学校より始まりました。竜北東小学校は8月27日から29日まで、宮原小学校は9月3日から5日までの2泊3日でしたが、残暑厳しい中の活動となりました。

龍神橋から大きい荷物を背負い、屋敷へと続く坂道を上ってくる際は、みんな息を切らせながら上がってきましたが、屋敷を見ると疲れも無くなり、「何するの?」という質問が飛び交っていました。

スタッフの自己紹介が終わり活動開始です。鉈を初めて使う子どもたちも、包丁を初めて使う子どもたちも、しっかりと注意事項を聞き、恐る恐る自分たちに与えられた仕事を始めました。特に間違った使い方は重要な説明で、お互いに注意しながら進めているうちに、子どもたちの順応性の良さが見えてきました。また、お互いに応援しあい、励ましながらテンポよく作業をする姿はほほ笑ましく、そして力強く感じました。

まき割では、なぜきれいに真っすぐ割れないのか悩んでいる子どもたちに、まき材の節の説明をすると、眼を丸くして「へー」「なるほど」と感想が出ていました。

火起こしもマッチを使い新聞紙に火を着けようとして消えてしまったりと初めて尽くしの子どもたちは、楽しみながら学んでいたように思えます。



▲さあ、まき割りだ!!



▲夕食作り

竜北東小学校・宮原小学校 宿泊通学 2日目

2日目は朝6時に起床しラジオ体操、目を覚ました後は施設の掃除を行い、朝食後は学校に行くリーダー（高校生）をお見送りしてから、里地屋敷の活動を行いました。

1時間ほど本結びや、もやい結びなどのロープワークを行い、みんなで知恵を絞りながら、課題の結び方をクリアしていました。その後は竜北東小学校がスパイダーネット、宮原小学校は雨天のため室内で宇宙船地球号という遊びをしました。どちらも自主性、協調性を試すゲームです。自分勝手な考えではクリアすることができないこの両ゲームは、非常に盛り上がりました。スパイダーネットは、縦横無尽に張り巡らせたひもをクモの巣に見立て、ひもに当たらないように、全員が反対側に移動することができればクリアとなり、宇宙船地球号はひもで作った円にメンバー全員が入り、5秒間その状態をキープすることができればクリアとなります。

一人一人が手順を確認・実践し、みんなが一人のために協力をするのが鍵となります。何度も失敗しながら、最後は全ての班がクリアすることができました。この2泊3日で両校の子どもたちは、さまざまなことを学んでもらったと思います。今と昔の生活の違い、便利な裏にあった苦勞などは、実際に体験しないと分らなかったと思います。文明のありがたさを、かみしめると同時に、災害などが多くなってきた今日この頃ですが、一昔前の知識や技術が、いざというときに大事になってくるといふことと、みんなで協力してさまざまなことに挑戦し、クリアしたということと、少しでも覚えておいてもらえればと思います。



▲スパイダーネット



▲宇宙船地球号

平成26年度 里山フェスタ

11月23日(日)に今年も里山フェスタを行います。さまざまな出展もごさいますので皆さま奮ってご参加ください。

【出展内容(予定)】
バンド演奏・木工クラフト・自然観察会・軽食など



お問い合わせ・お申し込み先
立神峡公園管理組合 ☎62-1543 tategamikyou@yahoo.co.jp (8:30~17:30 火曜定休日)

町民文芸

短歌

瞿鏢と立居振る舞い凛とすが
気分ほどに滑舌ならず
法道寺 本田 花風

台風風強まるも能蟬は
時を惜しむか忙忙と鳴く
北野津 宮本 末秋

青田より白鷺二羽の飛び立ちて
やがておりてドジョウを食へ
高塚 桑原ゆき代

虫食みに夜毎現はる一匹の
守宮は体柔に折り曲げ
吉本 高橋 澄子

暮ならずむ風にゆらめく酔芙蓉
我もなりたし芙蓉のごとく
西野津 古崎スエノ

通所日の出張と言えり晩酌の
主もほんのり愛いは遠く
南鹿野 尾崎 京子

台風と豪雨いずれも縁遠き
わが住む町はありがたきこと
吉本 橋村 正之

美容師の技の手さばきすつきりと
鏡の中の吾も微笑む
西野津 古崎 栄子

俳句

国を捨て移民さまよふ欧州路
世は末法と諸人は言うなり
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

酒ビール焼き鳥カラオケ納涼祭
施設入所者車椅子に沈む
西上宮 村内 一誠

空蟬の葉先にゆれて静かなり
北野津 宮本 末秋

鶏頭の種まき花のまつすぐに
高塚 桑原ゆき代

草取りや飛蝗の住処残し置く
吉本 高橋 澄子

帰省客田舎料理でおもてなし
西野津 古崎スエノ

ゴキブリも孫にも負ける我の足
南鹿野 尾崎 京子

秋めくや確か新涼となりけり
西野津 古崎 栄子

里山に鹿の足跡あらあらし
町 香山菊童子

十五夜の月眺め居て子等のこと
町 香山セツ子

青の洞門

吉本 橋村 正之

主人殺しの大罪を
犯せしよりの市九郎
重ねる悪業戦きて
仏の袖にとすがり来ぬ
出家し行脚の了海が
山国郷の難所知り
諸人の難儀救わんと
山穿つ事発願す
毀譽褒貶の渦の中
只ひたすらに振るう槌
里人よくやく畏敬して
是より本気に助勢なす

十六年目の其の日なり
打ち込むノミが突き抜けて
眩しき光差し込めば
ここに大願成就する

お別れのバラの詩

法道寺 本田 花風

我が恋人は六月に咲いた赤いバラ
我が恋人は愛おしく奏でられる 調べの
ようだ
恋人よ 君麗しく我が恋はいよいよ深く
日々閉ざされんとも
我が愛は変わらぬ 我が命のある限り
我が愛は変わらぬ
いざさらば しばしの間 やがてまた君咲
きはるまで
心しずかに時をまつ 君うるわしや
六月の赤いバラ
君ほどかれんな薔薇はほかにない 花
弁を小さく黄色に染めて誰を待つ
ひと時を待つ たれも来ない野バラの棘は
時をまつ
たれが触れた指先に君は薄桃色に化粧
する野バラの棘は人待ち顔に時をまち
たれかの指を待ち望み やがて赤く頬を
染め時がきてしずかに吐息は消えてゆく
また春が来て 野バラの花弁は季節をの
せ命のサイクルを咲き続ける。
黄色、桃色、朱色と紅をさしかえて
何度もなんども紅を変え命尽きるまで
咲き誇る。
野バラよ君はたくましく 君ほど可憐
なバラは他にない。

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。

